

株式会社 Sharing Innovations

2024 年 12 月期第 2 四半期 決算説明会動画書き起こし

動画 URL : <https://irp-system.net/presenter/?conts=01j55hwzwnvph93yvaaf8d9s2f>



ご視聴いただき誠にありがとうございます。

株式会社 Sharing Innovations、代表取締役社長の信田でございます。

今回、2024 年 12 月期第 2 四半期の決算発表について、報告させていただきます。

上期目標達成

- 構造改革を経て、FY2023の第3四半期以降、安定的に利益が出る体質に
- FY2023より実施してきた原価の最適化により、DX事業の収益性が高まり、今期事業計画の上期目標を達成
高難易度・大規模案件（高単価・高収益）の獲得も進む

2024年12月期第2四半期の決算では、前年比で大幅な増益、計画比でも計画を上回るペースで進捗しております。

当社は、2022年の第2四半期以降、外部環境の変化に伴って売上の伸びが鈍化し、利益面でも四半期の営業利益が赤字になるなど苦しい時期がありました。その状況に対し、売上、コストの両軸で構造改革を行い、2023年の下期以降、安定的に利益を計上できるようになりました。今回の2024年第2四半期では、第1四半期から引き続き、原価改善の取り組みの効果により、収益性が向上するに至っております。

また、計画比においても、これらの効果により、上期の計画・目標を達成しております。

アジェンダ

- 1) 2024年12月期 第2四半期 概況
- 2) 2024年12月期の見通し
- 3) 会社/事業概要
- 4) 当社事業が属する市場の概況
- 5) 当社の強み
- 6) 基本経営方針
- 7) 各種戦略の骨子

©Sharing Innovations Inc. All rights reserved.

3

本日のアジェンダについては、こちらに記載のとおりとなります。2024年12月期第2四半期の決算を中心に説明いたします。

なお、3)会社/事業概要以降につきましては、今回説明を割愛させていただきますが、当社コーポレートサイトのお知らせ（<https://sharing-innovations.com/news/12909/>）にて、6月26日に登壇し、事業概要や中期経営計画をお話ししたIRセミナーの動画と書き起こしを紹介しておりますので、そちらもご参照いただけますと幸いです。

2024年12月期 第2四半期 業績（全社） 前年比

FY2023の構造改革の効果により、安定的に利益が出る体質に
DX事業のクラウドインテグレーション領域にて、受注ルールの適正化、案件管理の徹底等
により収益性が向上。販管費は、FY2023に実施した人員再配置等の施策による減少

(単位:百万円)	(前年同期) FY2023-2Q	FY2024-2Q	増減率
売上高	2,495	2,550	+2%
売上総利益	464	537	+16%
販売管理費	464	433	▲7%
営業利益	▲0	104	-
経常利益	2	103	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲16	64	-

©Sharing Innovations Inc. All rights reserved.

4

2024年12月期第2四半期の決算の状況につきましては、売上高25億5,500万円、営業利益1億400万円という着地になりました。

2022年以降取り組んでまいりました構造改革の効果により、2023年の下期から当社の業績は大きく回復しました。ですが、2023年の上期時点では営業利益がほぼゼロという状況のため、2024年第2四半期の前年比としては、大幅な増益となっております。2023年に実施した人再配置等の施策や、2023年下期から続けている受注ルールの適正化、案件管理の徹底という取り組みにより、収益性が向上しております。

2024年12月期 第2四半期 業績（事業別）前年比

		(前年同期)		
(単位:百万円)		FY2023-2Q	FY2024-2Q	増減率
DX事業	売上高	2,311	2,356	+2%
	セグメント利益	115	231	+100%
PF事業	売上高	195	210	+8%
	セグメント利益	26	23	▲12%

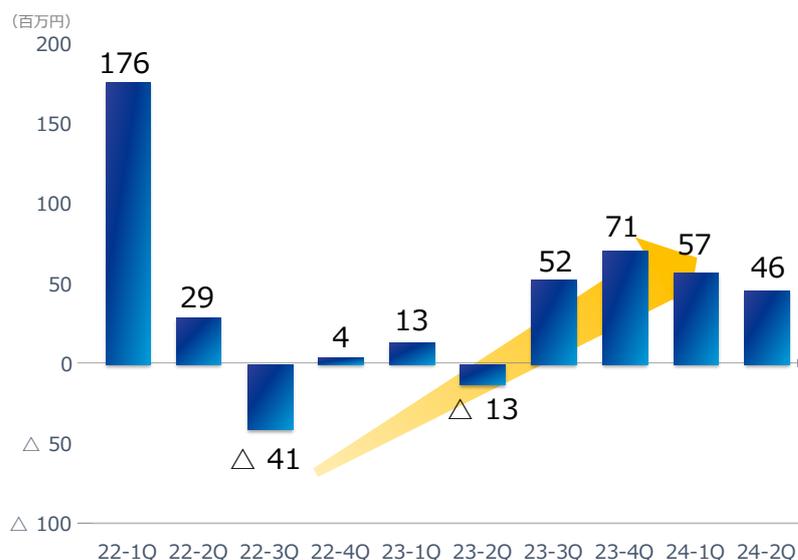
事業別の状況は、こちらの通りとなります。

事業別の損益で一点補足させていただくと、プラットフォーム事業の減益は、当社とベトナムの開発子会社との取引価格の見直しによるものです。プラットフォーム事業で展開しているアプリの開発は、当社からベトナム子会社に委託しているのですが、直近の為替レートを踏まえ、2023年の下期に取引価格を改定いたしました。内部取引を消去した連結ベースでは、プラットフォーム事業は、増収増益と好調を維持しております。

四半期別 営業損益推移

FY2022-3Qから 営業利益が改善

FY2024-1Qと2Qの差は、2QにおいてDX事業のシステムソリューション領域で納品スケジュールのために一時的にリソースを集中的に投下したことによるもの



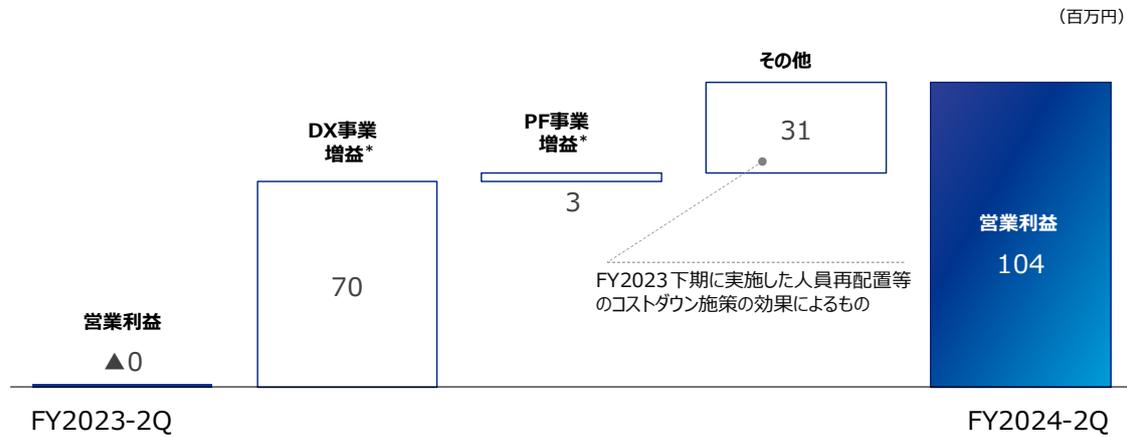
©Sharing Innovations Inc. All rights reserved.

6

四半期ごとの営業損益の推移では、2022年第2四半期に一気に利益が減少しており、そこから赤字黒字を繰り返すような状況が続いてきました。それに対して、昨年2023年に、親会社グループ含めた人員再配置を行い、主にコスト面で筋肉質となり、2023年の第3四半期以降、利益が出る体質となっております。

なお、2024年の第1四半期と第2四半期の差異の要因としては、デジタルトランスフォーメーション事業内のシステムソリューション領域にて、納品スケジュールのために一時的に社内、社外のリソースを集中的に投下したことにより、一時的に費用が増加したことによるもので、下期以降への影響はありません。

FY2023の構造改革の効果により、安定的に利益が出る体質に
DX事業のクラウドインテグレーション領域にて、FY2023より実施してきた原価の最適化により、収益性が向上



*:各セグメントの売上総利益増減額
©Sharing Innovations Inc. All rights reserved.

7

このスライドでは、前年からの営業損益の増減要因をウォーターフォールで表示しております。

これまで見てきたように、本業であるデジタルトランスフォーメーション事業が大幅に増益となっております。その他については、2023年下期に実施した人員再配置等の施策の影響となります。

FY2023から大きな変動はなく、財務面は引き続き盤石

(単位:百万円)	(前年同期) FY2023	FY2024-1Q	増減額
資産合計	2,318	2,375	+56
流動資産	1,568	1,683	+115
固定資産	750	691	▲58
負債合計	870	862	▲7
流動負債	667	678	+10
固定負債	202	184	▲17
純資産合計	1,448	1,512	+64
負債・純資産合計	2,318	2,375	+56

BS は、2023 年の期末から大きな増減はありません。

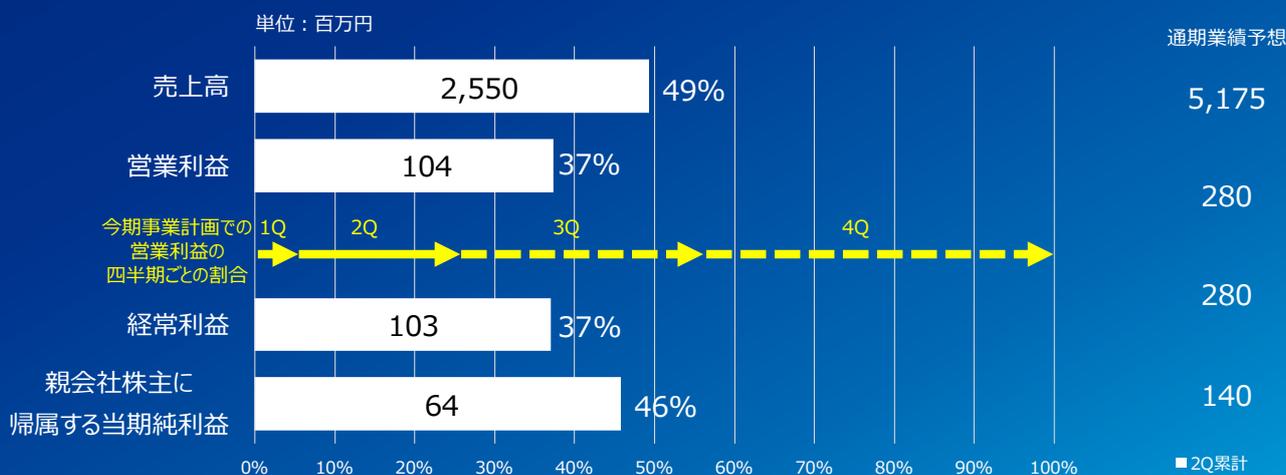
アジェンダ

- 1) 2024年12月期 第2四半期 概況
- 2) 2024年12月期の見通し
- 3) 会社/事業概要
- 4) 当社事業が属する市場の概況
- 5) 当社の強み
- 6) 基本経営方針
- 7) 各種戦略の骨子

続いて、2024年12月期の見通しについて説明いたします。

FY2023より実施してきた原価の最適化により、DX事業の収益性が高まり、今期事業計画の上期目標を達成

< 通期業績予想に対する2Q進捗率 >



こちらのスライドは、2024年の事業計画に対する進捗を表しております。グラフの右側の数字が2024年の事業計画で、売上は51億7,500万円、営業利益は2億8,000万円を目標としております。それに対して、上期までの段階で、売上高が49%、営業利益が37%の進捗となっております。

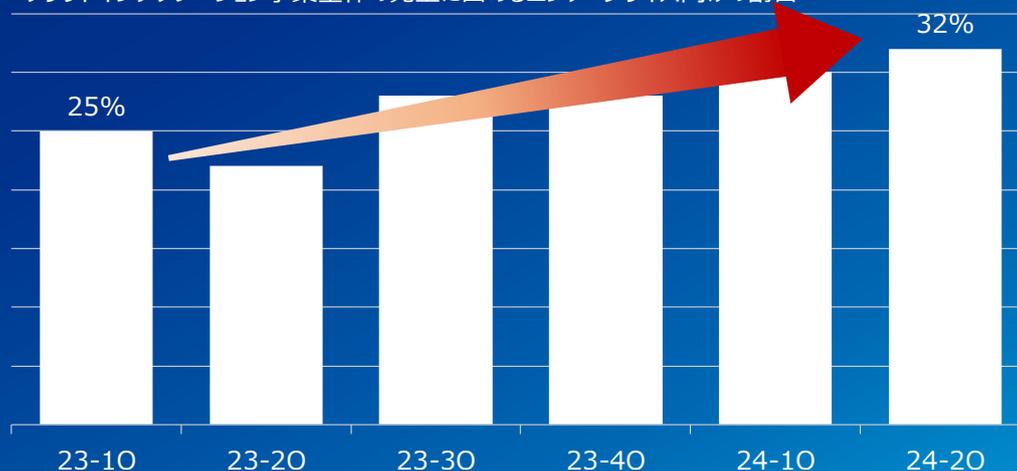
2024年の計画の営業利益を四半期ごとに表しているのが、真ん中の黄色の矢印です。年の後半に行くほど高単価の案件が増えていくことやコストダウン等の収益性の改善の効果も徐々に表れていくこと、また年の前半で採用活動を行うことから、第1四半期から第4四半期にかけて利益が増えていく計画としております。この計画に対して、上期の営業利益の実績は、上期の計画を超過し、目標を達成しております。

2024年12月期 事業進捗 エンタープライズへの進出

クラウドインテグレーション事業では、高難易度・大規模案件を扱うエンタープライズ向けの売上の割合が順調に増加

高難易度・大規模案件は高単価のため、収益性の向上に貢献

< クラウドインテグレーション事業全体の売上に占めるエンタープライズ向けの割合 >



©Sharing Innovations Inc. All rights reserved.

11

事業進捗を表すものとして、デジタルトランスフォーメーション事業のクラウドインテグレーション領域における、売上のエンタープライズ向けの割合の推移を示したグラフがこちらになります。単価の高い案件が、着実に増えている状況をご覧ください。

2024年12月期 業績の見通し（全社）

(単位:百万円)	(前年同期) FY2023	FY2024	増減率
売上高	5,057	5,175	+2%
売上総利益	1,015	1,170	+15%
販売管理費	891	890	▲0%
営業利益	124	280	+126%
経常利益	126	280	+122%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	140	+312%

©Sharing Innovations Inc. All rights reserved.

13

なお、事業計画については、先ほどの通り、売上は51億7,500万円、営業利益は2億8,000万円で、2024年2月に発表した計画から変更ありません。

この事業計画の達成に向け、全力で取り組んでまいりますので、株主、投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援いただけますと幸いです。

ありがとうございました。

以上